



平成27年4月14日
中部地方整備局港湾空港部
名古屋港湾事務所

お知らせ

伊勢湾口沖GPS波浪計の観測停止について(状況報告)

●概要等

国土交通省中部地方整備局が伊良湖岬の南約25kmの海上に設置した「伊勢湾口沖GPS波浪計」が平成27年4月3日より観測停止となっているため、早急な原因究明と一刻も早い観測再開をするためGPS波浪計の点検準備を整えています。(観測停止のお知らせは4月6日)

●これまでの対応

- ①4/9(木)陸上局(愛知県田原市伊良湖町の「伊勢湾海上交通センター」内に設置)の通信機器を確認、機器の異常は認められなかったことから、原因は海上のGPS波浪計にあると判断。
- ②4/10(金)海上のGPS波浪計の点検を実施するため現地(海上)に行くも、高波浪のためGPS波浪計に乗り移ることが出来ず、外観確認のみ実施にて帰港。(外観は異常なし)
- ③4/11(土)以降も、気圧配置から高波浪の日が続いており、毎日、点検のため出港準備はしているものの、高波浪のため出港出来ない状況が続いています。

●今後の対応

引き続き、天候が回復次第、速やかにGPS波浪計の点検を実施し、原因の特定、復旧方法の検討をし、一刻も早い観測再開ができるように努めてまいります。

しかしながらこの先も4/16(木)までは、高波浪の状況が続くと予想され、現地GPS波浪計の確認は早くても4/17(金)以降となる見込みです。

なお、観測再開の際には、別途報告させていただきます。

- 配布先 中部地方整備局記者クラブ、名古屋港記者クラブ、港湾新聞、港湾空港タイムズ、日本海事新聞、海事プレス

●問合せ先

国土交通省 中部地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課

課長：野口、課長補佐：大塚

Tel 052-209-6329

国土交通省 中部地方整備局 名古屋港湾事務所

副所長(技術)：杉、港湾保安調査官：島田 Tel 052-651-6266

〔GPS波浪計〕

○GPS波浪計は、港湾整備に必要な沖合波浪を観測する目的で設置したもので、観測データについては、ナウファスHP※で公表しています。

○また、地震発生時には、津波観測も可能であることから、気象庁に観測データを提供しており、気象庁の津波情報にも活用されています。

○なお、観測データを提供している気象庁には欠測となっていることを連絡済みです。

※ナウファスHP(全国港湾波浪情報網)(<http://www.mlit.go.jp/kowan/nowphas/>)

国土交通省港湾局が運営する我が国沿岸の波浪、潮位等の観測網のホームページ

